

●炭焼き体験

昨年の木炭の生産量は200kgでした。今年は195kgができました。その他に完全に木炭化できていないものが11箱55kgありました。これは原木に使ったものに、1年前の物や2年前のものという古木と今年伐採したもののが混在していた為だろうと考えられます。このような火の調整が非常に難しい条件のもとで、これだけの生産が出来上がったのは、大変素晴らしい事ではないでしょうか。特に前号でも述べましたが、1か月前には窯の中に水たまりがあったという最悪の状況の中での成果だったのです。取り組んでいただいた皆さんは、多くの事を学ばれたのではないのでしょうか。こうした経験を積み重ねて行くことがベテランになっていく道なのではないでしょうか。



●炭の窯出し 3月9日(火) 子ども達8名が参加

今日では炭(木炭)を使用する機会は日常生活では殆どないありません。今の子どもたちはマッチの使い方を知る機会が無く、木炭を使って日常の食事のための火起こしをしていたとは考えられないのではないのでしょうか。勿論このようにして木炭を生産するという作業も初めてだったと思います。



里山の会には地元の原木を使った木炭が2年間分の生産品として保存しています。皆さんがバーベキューなど、屋外で炭(木炭)を使用される場合があれば、大いに活用をお願い致します。

5kgで1000円でご使用して下されば大変有難いです。ぜひ多くのお知り合いにご紹介ください。山城地域内であればお届けに上がります。また同時に生産された純粋の木酢液も手元に1000分が採取

炭(木炭)の販売	5kg = 1,000円
木酢液の販売	500cc = 500円

出来ましたので、家庭菜園などの防虫剤などに使っていただきたいものです。これは化学薬品ではなく木材の排煙から採取した液ですので、大変貴重なものです。ご注文をお受けいたします。数量に限りがありますので、先着順でお分けいたします。500ccで500円の協力金をお願いしています。

●京都府立植物園が創立100周年記念フォーラム 3月17日(日) 13時開場 場所：歴彩館(京都地下鉄北山駅から徒歩5分)

里山の会の理事長代行の光田重幸さんが講演をされますので、是非多くの皆さんがご参加くださるよう呼びかけします。参加された方には、里山の会が製作している竹サインペンが配布されるとお聞きしています。14日に京都府に納付する準備を進めています。

●京田辺市立中央図書館の甘南備ギャラリーにて3月12日から里山展を開いています。

## 里山展

①NHKの大河ドラマ「光る君へ」にあやかって源氏物語に登場してくる「花53種」の写真を展示しています。きっと、こんなにあるのか！と感銘していただける展示になっています。ぜひ一度ご覧になって下さい。

②木津川での魚の隠れ家などに役立つ竹蛇籠を、この2月17日に30名の皆さんと木津川の玉水浜に設置した「将棋頭型竹蛇籠水制の取組」の紹介。

③里山の会が今年行ってきたイベント参加の「呼びかけチラシ」を展示して活動紹介をしています。

④京の川の恵みを生かす会の賀茂川の「アユの遡上調査」の説明、などを展示しました。これも普段には目にできない展示物です。



手元の刊行物では2011年に発行した「京都植物誌目録ノート」が残数12冊になりました。これは昭和11年に発行された大阪営林局（略称「東山」）パンフ等里山の会が収集してきた（故・上島裕）文献を集約したものです。京都府下にあった記録を集約したもので、非常に貴重な作品です。ぜひ一度は手に取って

見ていただきたい里山の大傑作作品（販売価格は4000円）です。

また2008年に発行した「京都木津川の草花たち」も残部数80部弱となっています。これは3年間かかって木津川の堤防＝八幡市から加茂大橋までの24kmの堤防＝延べ1000人の皆さんで撮影してきた堤防の草花の写真集です。これも手元に置いていただきたい1冊です（販売価格は1000円）。いずれも活動協力金として処理をしています。※営利を目的としたものではありません。

会場には説明や解説を担当している係員がおりますので、どうぞ気楽に疑問や解説などを投げかけて下さい。この展示は3月17日（日）15:00までとなります。

